

令和4年度 第2回福井市地域生活交通活性化会議 議事要旨

日時	令和4年8月19日(金) 13:30~14:40
場所	福井市企業局3階301会議室
議題	別添「次第」の通り
出席者	別添「座席表」の通り
会長	<p>2 議事</p> <p>議案1：赤十字みのり乗合タクシー線の経路変更について (福井交通株式会社が資料1に基づき説明)</p> <p>地域の方に対しては、停留所設置については自治会を通じて周知することになると思うのでお願いしたい。</p>
委員	<p>3 報告事項</p> <p>報告1：美山地域バス(芦見・味見ルート)停留所名の変更について (事務局が資料2に基づき説明) 意見なし</p> <p>報告2：南東地区フルデマンドタクシーの停留所設置について (事務局が資料3に基づき説明)</p> <p>議案1、報告2と併せて質問だが、地域の方から利便性が悪いということで、要望を受けて停留所を新設することは良いが、どこまで要望に応えるのか。</p>
事務局	<p>赤十字みのり乗合タクシー線については、以前はバス車両で運行していたが、現在はジャンボタクシーで運行しており、小回りがきく。澁一丁目の停留所について、以前は資料の青線近くのアパート前に設置されていた。その時はバス車両で、田んぼがあり歩道がない状況でバスが停まっていたため危ないということで、現在の場所に移設した。</p> <p>澁1丁目の北側にある市営住宅や昔から住んでいる高齢者にとっては停留所が離れており、交差点を何回も横断することになる。また、道路上に停めることなく、澁きつね公園に車両が停めることができるスペースがあることから設置した。</p> <p>当初は、資料の青い点線上に設置することも検討したが、警察と協議し、おさごえ民家園から抜ける道で、通行量が多いため、澁きつね公園前にした。</p>

	<p>バス車両だと、停留所設置は難しいが、小回りがきく車両だと安全性を確保しながら要望があれば検討したい。</p> <p>間隔を空けずに設置すると、定時性の問題があるが、この乗合タクシーについては朝に運行していないため、この経路で運行したい。</p> <p>南東地区フルデマンドタクシーについては、タクシー車両を使用しているため停留所の設置については、交差点にかかっているならば停車できるため、地区の要望を聞きながら設置していきたい。</p> <p>文殊殿付近で工事しており、車両の通行量が多く、利用する高齢者が大土呂の集落から歩くと危険ということで今回の場所に停留所を設置した。</p> <p>乗合タクシー、フルデマンドタクシーについては同じ集落に2カ所設置することもできると思うので、ご相談いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>ちなみに、赤十字みのり乗合タクシー線だと既存の経路から外れた経路に変更するとダイヤに関わってくると思うが、ダイヤを乱さない程度でしか変更できないのか。</p>
<p>委員</p>	<p>車両の運用や運転手など様々な条件がある中で、影響がないのであればダイヤ変更可能だが、変更することで時間が伸び、車両が増え、連続運転に引かかるのであればできない。大きい制約の中で引かからない範囲で利便性に繋がるのであれば要望に応じていきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>要望があればできる範囲の中で応えていくのが原則で、場所の問題、運転手の問題、ダイヤの問題など総合的に勘案して変えられるものは変える。一律に制限を設けるものではないと考える。また、是非要望をしたのならば利用してほしい。</p>
	<p>4 協議事項</p> <p>(1) 福井市地域公共交通計画策定にかかる業務委託について (事務局が資料4に基づき説明) 意見なし</p> <p>(2) 福井市地域公共交通計画策定支援業務について (日本海コンサルタントが資料5に基づき説明)</p>
<p>委員</p>	<p>p.7の交通量で、国道8号が大きく減っているという記載の一方で、p.9で、自動車の台数が微増となっている。自動車の台数が減っていないが、主要道路の交通量が減っているということなのか。</p>

<p>コンサル</p>	<p>自動車の台数は減っていないものの、1台あたり、または1人当たりの移動回数が減っている可能性がある。外出頻度が減っているのは全国的な傾向であり、それが要因の一つとして考えられる。もう一つは、最近の道路整備により、複数経路に交通が分散している可能性も考えられる。</p>
<p>会長</p>	<p>計画のメインはまちなかのすまいるバスの議論が中心になろうかと思う。ただコロナの影響もあるが、中心部の動向が利用に大きく影響すると考えると、今一番悪い状況とも言える。お店も減少しておりそもそも目的となる中心部への移動が一番少ないと思われる中で調査することとなるが、将来の新幹線開業や再開発などの状況を予測しながら考えていかねばならない。現在の利用が低い、お店も営業していないような現状だけを見て計画を考えるのは違うと思う。各位においてもこの点を考慮しながら検討のアイデアを頂きたい。調査のタイミングとしては難しいが、今年度、来年度で計画を策定しなければならないので、やむを得ないと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>p. 24 アンケート調査について、すまいるバス沿線住民 1,000 人とあるが、どのくらいの回収を見込んでいるか。また回収率を上げるための工夫は。</p>
<p>コンサル</p>	<p>一般的には3割程度の回収すなわち 300 票の回収を目指したい。出来るだけ分かりやすい調査票設計としたり、すまいるバスのチラシを同封するなど、出来るだけ関心を持ってもらうような工夫が考えられるが、事務局と相談したい。</p>
<p>委員</p>	<p>すまいるバスの年齢構成は高齢者が多いのか。もしそうであるならば、無作為抽出ではなく、高齢者に偏ったアンケートのほうが、意味のある結果となるのではないか。例えば、若年世代の回収率が低くても統計的有意性があるのかどうか。</p>
<p>コンサル</p>	<p>すまいるバスの利用は必ずしも高齢者ばかりではなく、通勤通学利用も見られるというところである。</p>
<p>事務局</p>	<p>4年ほど前にすまいるバスのアンケートを実施した際の利用者年齢分布は、高齢者の方が比較的多いという傾向であった。当初「まちづくり福井」がすまいるバスを運行開始した際は、日中の百貨店や商店街の営業時間に合わせた利用が多かったため、高齢者の利用が多かったが、その後、朝のダイヤを増やして通勤通学の</p>

	<p>利用を増やすようにシフトしている。京福バスに経営が移行した後も、高校生の利用が増えており、その点もあって 15 歳以上とさせていただいている。年齢層の偏りは出ないようにしたいが、アンケートの傾向としては回答者の年齢層は高くなるのかも知れない。今後地元自治会にも調査協力をお願いをしようと考えている。</p>
委員	<p>要望だが、アンケート結果の分析に基づいて今後議論が進められると思うので、アンケート回収は出来るだけ有意なものになるよう努めて頂きたい。</p>
会長	<p>対象は年齢を偏らせず幅広い年代で回答いただくという点と、回答率を上げるための工夫についてのご指摘だった。出来るかどうか分からないが、抽選でノベルティを付与するなどの工夫、例えばまちなかの商店に使える券を抽選で 20 名贈呈など、回収率向上につなげられる方策があれば考えていただきたい。</p>
委員	<p>公共交通計画策定にあたって、都市交通戦略がすでに出来ている中で、具体的方策の検討を行うために今回の調査で補強していくと理解している。ただ、公共交通計画はバスだけではないので、他モードの検討をどうするのか、また、すまいるバスが喫緊の課題として見直しを検討するのは分かるが、福井市全体のバスを持続可能な交通とするためのフレームワークも是非この計画で検討いただきたい。</p>
事務局	<p>都市交通戦略は一昨年度策定されているが、今回の公共交通計画はバスを中心にした計画として考えている。その内容は、すまいるバスをはじめとする中心部バス路線の見直し、及び郊外のフィーダー交通の効率化による地域内交通の確保と公共交通空白地域の解消、の 2 本立てで考えている。鉄道については、えちぜん鉄道は昨年度策定、福井鉄道は今年度策定予定と、鉄道もそれぞれ計画を策定していく形となる。福井市内で完結する路線は市で検討するが、市域をまたぐ路線は県嶺北地域公共交通計画と連携して対応していきたい。</p>
委員	<p>都市交通戦略から何を切り取って本計画に位置付けるかは分かりやすく提示いただきたい。また、公共交通はタクシーも含めるべきであり、タクシーを計画にどう位置付けるかも考えていくべきではないか。</p>
事務局	<p>本市で運行されているデマンドタクシーなど路線として位置付け</p>

	<p>ているものは公共交通として計画の中で位置付けていくが、一般のタクシーについては改めて計画策定作業の中で考えて行きたい。観光要素もある一方で高齢者利用など生活交通という側面があったりするので、また調整してやっていきたい。</p>
会長	<p>本会議は鉄道・バス・タクシーの各事業者も参画しているので、交通機関トータルの話になると思うが、それぞれのモードで策定している計画を参照しながら、本計画の中でどのようにつなげていくのか考えていく必要がある。まちなかのバスやフィーダー系のバスについては、本会議で個別の話はしているが、系統立てて議論出来ていないのが現実なので、今回計画策定の中で整理していききたい。交通戦略との位置付けについては整理して、その中でバス交通をどう議論するのかが大事な視点であり、次回議論いただきたい。</p>
委員	<p>えちぜん鉄道では公共交通計画を作られたとのことであるが、データがあれば市の HP に掲載されていれば確認させて頂くが、冊子が余っていれば配布などしていただきたい。</p>
事務局	<p>冊子については余りがないかもしれないので必要な方には印刷して配るようにしたい。</p>
会長	<p>各モードの公共交通計画については委員各位においてもご確認いただきたい。</p> <p>アンケートの実施は 10 月予定とのことだが、次回会議の開催はいつを想定しているか。</p>
事務局	<p>未定であるが、12 月～1 月を予定。</p>
会長	<p>とすると、次回はアンケートを踏まえての議論になるということか。</p> <p>アンケートの中身については気になることがあれば個別に事務局に伝えていただければと思う。</p> <p>次回計画の基本的な方針を検討後、議論いただくことになるのでよろしく願いたい。</p>
	<p>以上</p>